

## 大学入試のあり方に関する検討会議（第7回）ヒアリング発表資料

# 「地方小規模大学」・「改革を進めている大学」の現場から

0. はじめに
1. （短く）自学紹介＋本学の入試結果
2. 理想の入試と現実
3. （学びの）高大接続は現場で始まっている
4. 高校生の学びと評価
5. チャレンジを後押しする入試にしたい
6. 問われる大学の覚悟
7. おわりに

学長 大森昭生



共愛学園前橋国際大学  
KYOAI GAKUEN UNIVERSITY



**共愛さんは、入学してから主体性を育ててるから、  
主体性は評価しなくていいですね。**

——ある地元高校の進路指導主事のお話

**・・・この矛盾をかみ砕けないまま今日に至っています。**

# 共愛学園前橋国際大学の概要

## 共愛学園の沿革

- 1888年（明治21年）  
前橋英和女学校開校
- 1889年  
上毛共愛女学校と改称
- 1939年  
共愛幼児園開設
- 1947年  
中学・高等学校の併設
- 1988年  
共愛学園女子短期大学開学
- 1999年  
共愛学園前橋国際大学開学
- 2009年  
共愛学園木瀬保育園開設  
（前橋市より移管）
- 2011年  
共愛学園学童クラブ開設
- 2016年  
共愛学園小学校開校  
共愛学園こども園開設

## 共愛学園に連なる学校

共愛学園こども園

共愛学園学童クラブ

共愛学園小学校

共愛学園中学校

共愛学園高等学校

共愛学園前橋国際大学



## 共愛学園前橋国際大学の概要

名称 英語名	共愛学園前橋国際大学 KYOAI GAKUEN UNIVERSITY
理念	共愛 = 共生の精神
目的	国際社会のあり方について見識と洞察力を持ち、国際化に伴う地域社会の諸課題に対処することのできる人材の養成
モットー	学生中心主義 地域との共生 ちょっと大変だけど実力がつく大学です
定員	入学定員255名（299名へ申請中） 収容定員990名
教職員	専任教員33名 専任職員24名

キャッチコピーは「地域の未来は私がつくる。」

地域の未来は私がつくる。

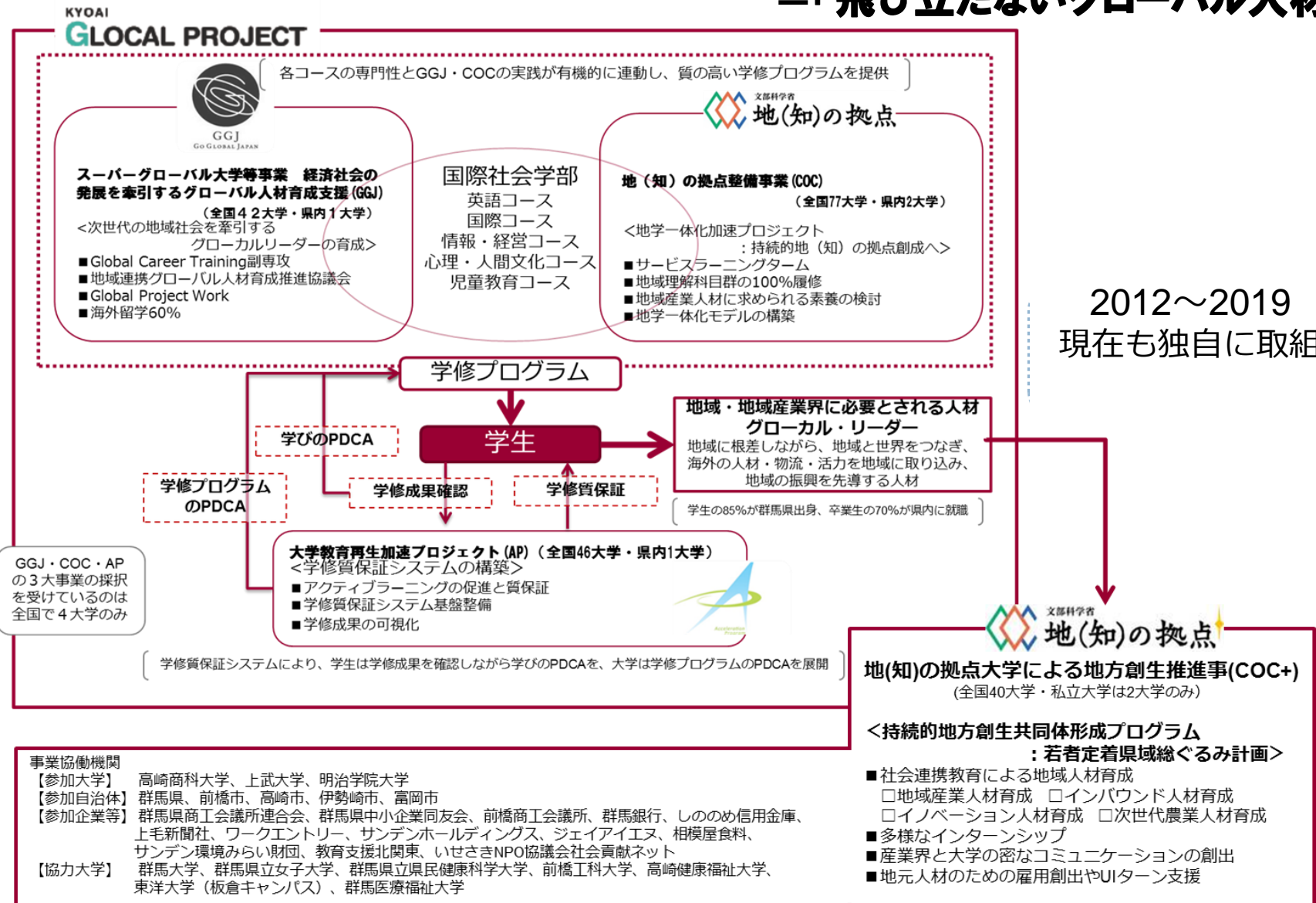
CREATING THE FUTURE OF OUR COMMUNITY



共愛学園前橋国際大学のPromotion Movie



# 地学一体で育てる「次世代の地域社会を牽引するグローバルリーダー」 ＝「飛び立たないグローバル人材」



# ①教育の質転換



アクティブラーニングのために  
設計されたKYOAI COMMONS

Seminar Studio



Creative Studio



ICT Area



i-Reading Area



Study Area



International Area



Group Work Area



Staff Counter



Active Library



Active Library



ユビキタス  
キャンパス



全普通教室  
AL仕様



教育質転換  
100%の専任  
教員がアク  
ティブラー  
ニング実践

AL実践  
専任教員  
100%

卒業までに  
93%の学生  
がALを受講  
(ゼミ等除  
く)

AL受講学生  
93%

## ②地学一体のグローバル人材育成(グローバルな学びも地学一体)

### 様々な留学研修プログラム



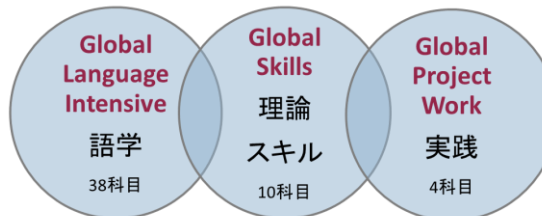
グローバル人材育成推進協議会

サンデン  
HD

伊勢崎市教育委員会

共愛学園前橋国際大学  
(事務局)

### Global Career Training 副専攻



Global Language Intensive	English for Global Issues I/II Internet English Advanced Listening I/II Advanced Writing I/II 中国語a/b/c/d/e/f 米海外研修 I / II	Speaking of Japan I/II Business English I/II/III/IV Advanced Reading I/II Academic Writing I/II 加海外研修 実践中国語 I / II / III	Professional Presentation I/II 英語Debate I/II Advanced Speaking I/II <b>One on One English</b> 豪海外研修 I / II
Global Skills	Multi-Cultural Understanding Global Leadership I / II	Multi-Cultural Communication Global Business Training I/II	Team Based Learning I/II Problem Based Training I/II
Global Project Work	Global Project Work I / II/III/IV		

#### One on One English



海外との1対1英語学修(正課)

#### Global Skills 科目群



英語のみのAL・地域社会人も参加

#### 海外研修サポートインターン



中学生の海外研修を事前指導から引率

#### 児童向けグローバルワークショップ



グローバルをテーマに小学生のWSを企画運営

#### ミッションコンプリート研修



アウェイで、自分たちだけでビジネスミッションをこなせ!

外国人観光客にアンケートを取る学生

#### アジア異文化研修



海外ボランティアや現地大学生との交流

西北大学交換留学

上海研修

カナダ研修

オーストラリア研修

アメリカ中・短期留学

ニュージーランド留学

アイルランド研修

カナダ短期研修

韓国研修

イギリス研修

海外研修サポーターインターン(アメリカ)

アジア異文化研修(タイ・台湾)

ミッションコンプリート研修(タイ)

東欧文化研修(ブルガリア・ルーマニア)

海外ティーチング研修(オーストラリア)

海外フィールドワーク(韓国・フィリピン・台湾)

学生の海外経験率約50%

# ②地学一体のグローバル人材育成

## 前橋市 + 共愛学園前橋国際大学

### COC推進本部

副市長 教育長 政策部長 教育次長  
文化スポーツ観光部長

副学長 学部長 事務局長  
学長補佐 地域連携担当教授

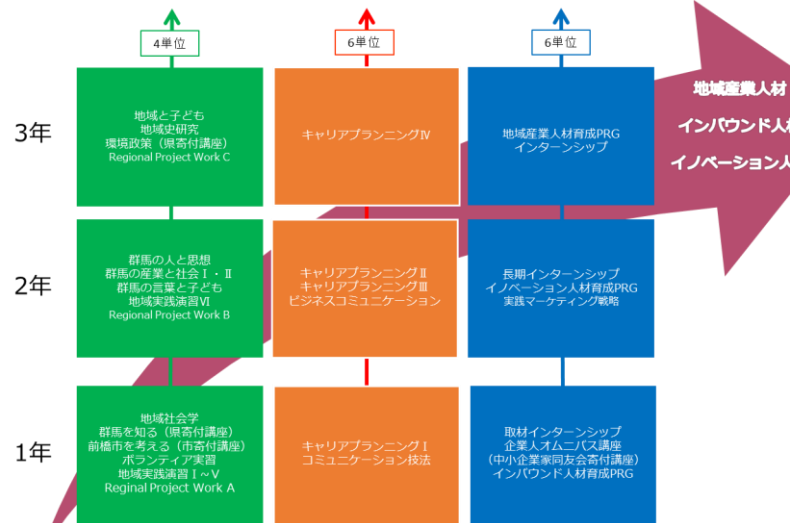
前橋市 地域コーディネーター

本学 地域コーディネーター

日常的に連携

## Regional Career Training副専攻

地域力 × 自分力 × 実践力 = 地域人材



### 学生企業「蘭美蚕」



特産品開発で地域企業とコラボ!

### Mキッズサミット



市・NPOと子ども育成プロジェクト

### 学校フィールド学習



年間を通して学生が学校を支援

### やる気の木プロジェクト



前橋市職員・しない学生の活性化PJ.

### M-Change



困難を抱える生徒の学習機会創生PJ

### ETC

児童英語教室サポーター  
日本語教室サポーター  
各種ボランティア

### 環境ネットワークキャンパス



地元企業・他大学のPBL

### 前橋学



地域の歴史を地域の中で地域の人と学ぶ

### サービスラーニングチーム (半年の地域留学)

長期インターンシップ



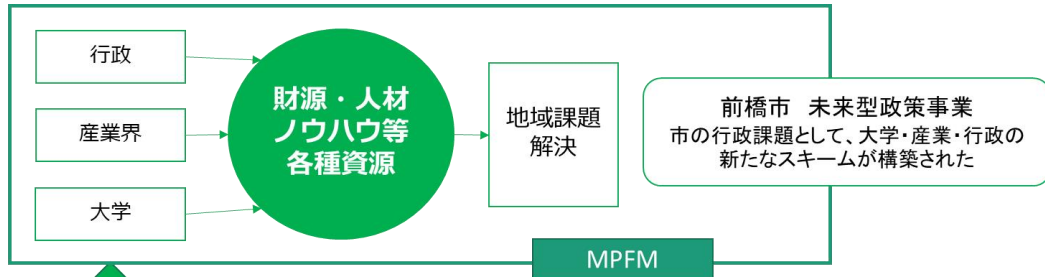
RPW (Regional Project Work)



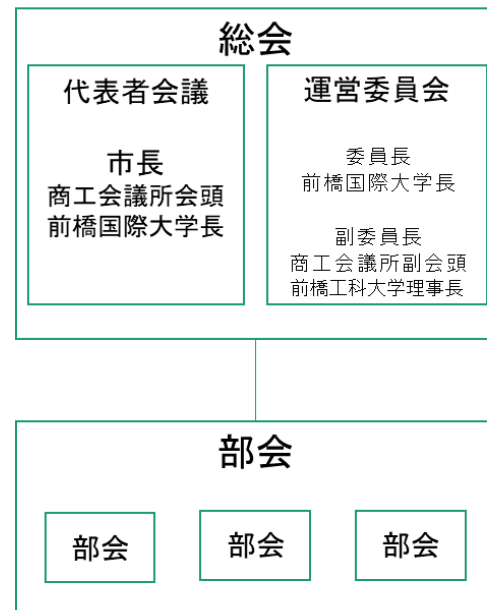
4か月間、大学に通う代わりに市役所や企業へインターンを行ったり、山間地域の限界集落に通ったりする。



# めぶく。プラットフォーム前橋



## 連携基盤推進協議会の組織



2018年9月 MPFMを運営するための組織として推進協議会が発足

地域人材の育成・定着に向けた産学官連携基盤推進協議会



<https://www.mebuku-pfm.jp/>

- 前橋市
- 前橋商工会議所
- 群馬大学
- 県立県民健康科学大学
- 市立前橋工科大学
- 群馬医療福祉大学
- 明和学園短期大学
- 共愛学園前橋国際大学

めぶく。プラットフォーム  
各方面より注目される

Column No. 03

地域連携プラットフォームに関する取組例  
「めぶく。プラットフォーム前橋」

前橋市の課題は人口減少であり、特に生産年齢人口（15歳～64歳）の変動が大きく、平成17（2005）年から平成27（2015）年までの10年間で約2万2千人が減少しています。

その大きな要因は、15歳～24歳の転出超過であり、進学や就職のタイミングで市内に定着しにくい状況となっています。また、企業側の状況について他機関を含め具体的な数値を把握できていないことや、市内全ての大学が参加する形の産官学連携体制が図られておらず、それぞれのリソースを十分に共有・発揮できていないことも大きな課題と捉えています。

そこで、平成30（2018）年9月25日、市内の国公私立6大学・前橋商工会議所・前橋市は、連携協定を締結し、産学官が知恵を出し合うための協議会『めぶく。プラットフォーム前橋』を設立して、地域人材の育成・定着の課題解決に向けた強固な連携体制を推進しています。

プラットフォーム形成によって、産業界、行政、教育界が共通して抱える複合的な地域課題（若者の地元進学・就職、事業承継等）の解決を行うことを目指しています。（高等教育に係る目標の別）

- ・前橋市内大学の魅力向上と情報発信の強化を通じ、入学着市内占有率について令和5（2023）年度までに平成30（2018）年度実績以上の水準を達成します。
- ・魅力溢れる市内産業との接触機会の創出等を通じ、市内就職率について令和5（2023）年度までに平成30（2018）年度実績以上の水準を達成します。

平成30年度文部科学白書  
に好事例として掲載

中央教育審議会大学分科会（第151回）  
資料4-2

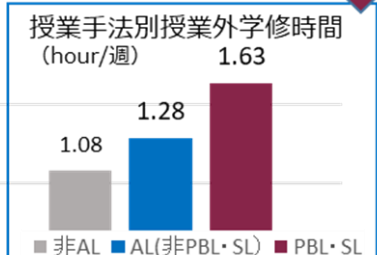
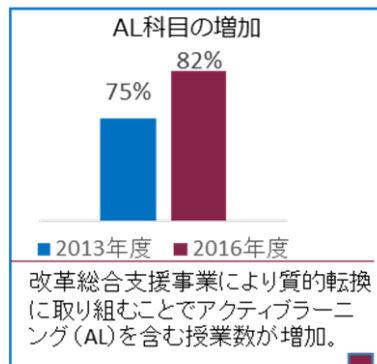
「地域における高等教育機関と大学間の連携の在り方について」発表資料

「めぶく。プラットフォーム前橋」について

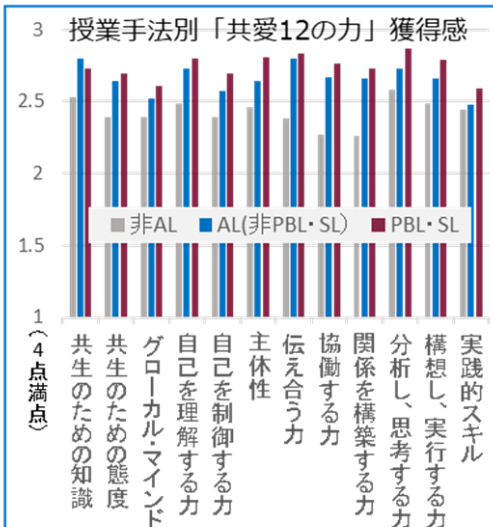
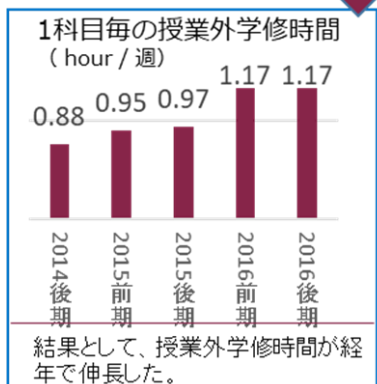
発表者：共愛学園前橋国際大学 学長 大森昭生  
前橋市政策部未来の芽創造課 課長 谷内田修

中央教育審議会大学分科会  
（第151回）にて共愛学園前  
橋国際大学学長と前橋市未来  
の芽創造課長が事例報告

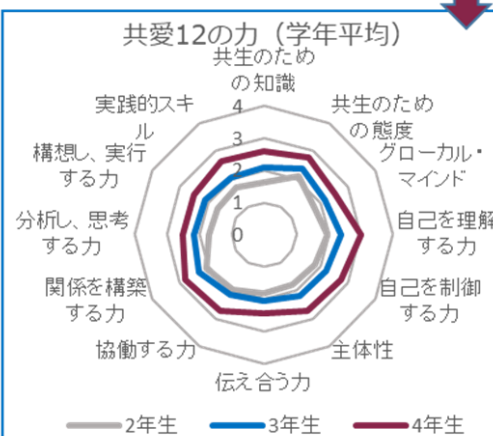
# ③学習成果の可視化とキャリアへの接続



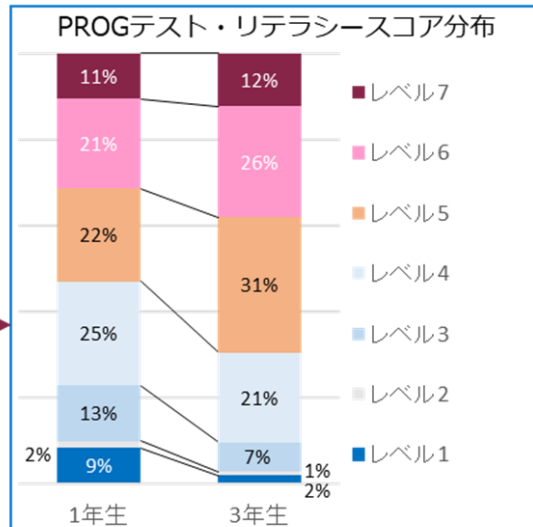
学修行動調査(2016年度)によりALやPBL授業のほうが授業外学修時間が長いことが分かった。



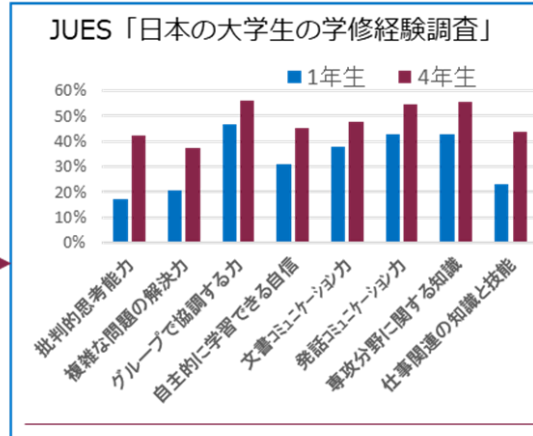
授業アンケートによりALやPBL授業のほうが学修成果指標である「共愛12の力」の各力の獲得感が高いことが分かった(2016年度)。



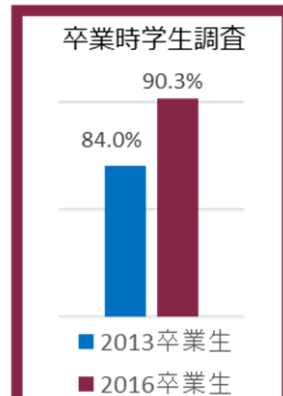
結果として、学年進行に伴い共愛12の力の各項目が伸長している(2016年度)。



河合塾実施の汎用能力測定客観テストでも、1年生より3年生の方が能力レベルが高くなっており、学生の成長が明らかになった。(2016年度)。

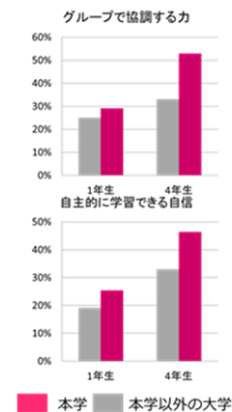


「大学で○○の力が向上したか」の間に「非常に」「かなりの」回答が1年より4年が多くなっている。(2016年度)。



「本学に入学してから力が付いたか？」の問いに「そう思う(とてもそう思う+そう思う)」と回答した学生の割合が、改革総合支援事業採択後に向上している。

(参考) 2015の左記調査では、下記のように他大学と比べて学生が成長していることが明らかに。



# —KYOAI CAREER GATE—

4年間の主体的な学習とその成果を目に見える形で積み上げ、キャリアにつなげる。

4年間に会うたくさんの学びと活動。その一つ一つを、eポートフォリオである

## KYOAI CAREER GATE

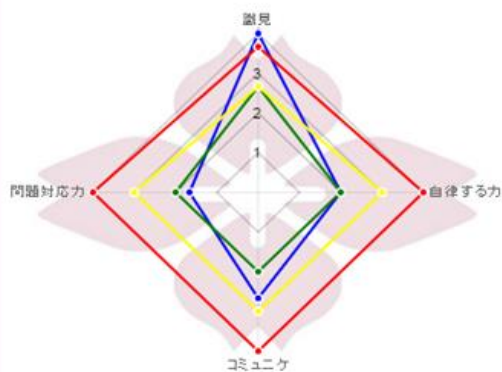
に蓄積し、自分の学習を振り返りながら、それをエビデンスとして、学習成果指標に基づく成果の自己評価と可視化をします。さらに、その活動や成果を

## SHOWCASE

を通して社会へと発信し、目指すキャリアへと接続します。



共愛12の力 レーダチャート



## 4年間の学修で身に付ける4つの軸と12の力 (学修成果指標)

識見	■ 共生のための知識	■ 共生のための態度	■ グローカル・マインド
自律する力	■ 自己を理解する力	■ 自己を制御する力	■ 主体性
コミュニケーション	■ 伝え合う力	■ 協働する力	■ 関係を構築する力
問題に対応する力	■ 分析し、嗜好する力	■ 構想し、実行する力	■ 実践的スキル

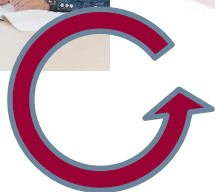
## SHOWCASE (KCG+S)

KCGに蓄積した成長の記録を公開履歴書としてキャリアに接続

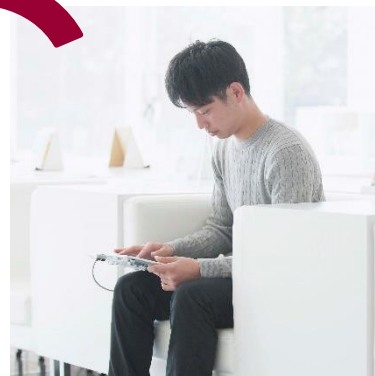
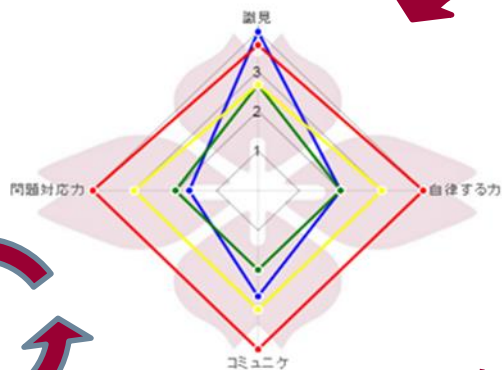
≡ CAREER ≡

# 共愛学園前橋国際大学がめざす

## エビデンスベースの自己評価による学修成果の可視化と自律的学修者の養成



教員とのリフレクション



- 学修活動の振り返り
- 学修計画の調整・改善
- 学修成果の総括

自己評価

評価規準  
(コモンルーブリック)

エビデンスの蓄積

(ポートフォリオ: KCG)

共愛12の力にリンク

授業での学修

学内活動

学外活動

科目	振り返り
〇〇演習	...
△△学	...
□□概論	...



(参照)  
外部テスト



4年連続 **5位**

### 学長が教育面で評価する大学

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1.金沢工業<br>国際教養 | 6.立命館アジア太平洋  |
| 3.国際基督教        | 7.立命館        |
| 4.東京工業         | 8.千葉         |
| 5.共愛学園前橋国際     | 9.上智・芝浦工業    |
|                | 11.京都・筑波・早稲田 |

『大学ランキング2021』（朝日新聞出版）

**13位**

### 学長からの評価

＜総合＞

（朝日新聞大学ランキング2021）

**5位**

### 学長からの評価

＜注目する学長＞

（朝日新聞大学ランキング2021）

## THE世界大学ランキング2019

### 総合順位

全国141位～150位

北関東甲信越10位（私学1位）

群馬県2位（私学1位）

### 国際性分野

全国40位

北関東甲信越3位

群馬県1位

### 教育充実度分野

全国75位

北関東甲信越6位

群馬県1位

**2位**

全学生に占める  
留学経験者割合  
（短期）

（THE世界大学ランキング日本版2017）

**5位**

グローバル時代を先導する  
改革に積極的な大学

（サンデー毎日2016.1）

**18位**

全授業に対する  
AL授業の割合

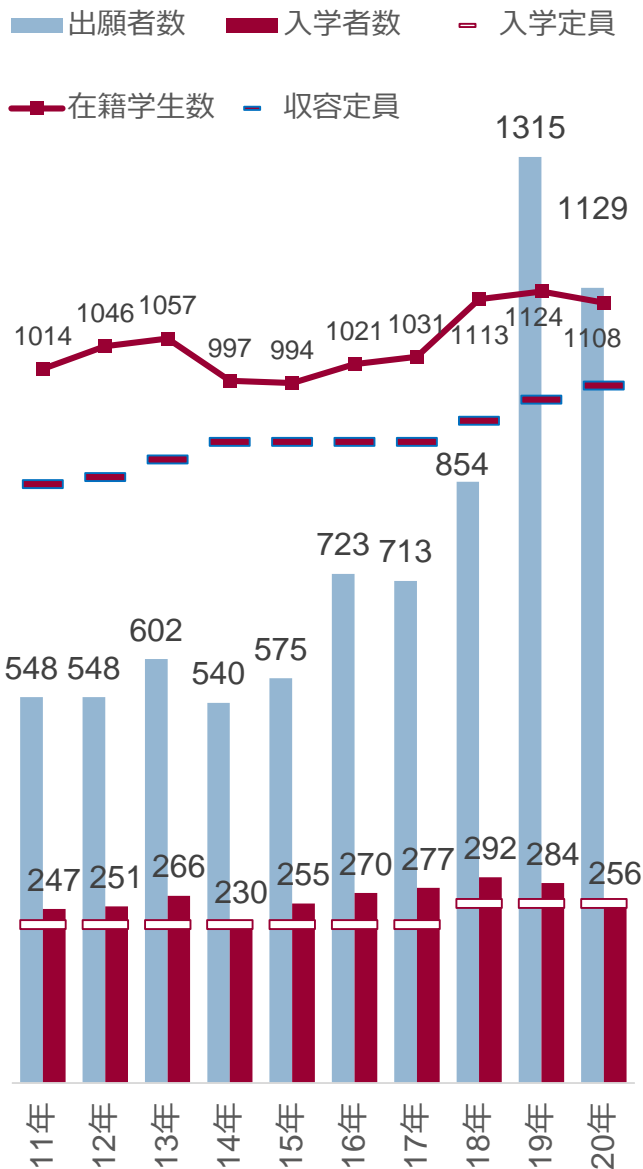
（THE世界大学ランキング日本版2017）

**28位**

グローバル教育力

（週刊ダイヤモンド2015.11）

## 在籍学生数・出願者数・ 入学者数推移



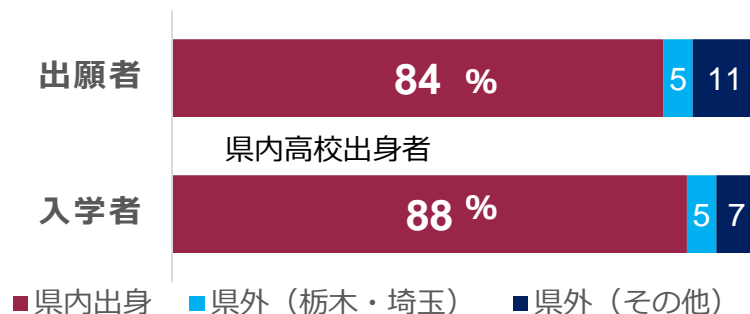
## 2020年度 入試結果

	志願者	合格者	倍率	入学者	歩留率
AO	39	7	5.57	7	100%
推薦	191	150	1.27	137	91%
一般	550	156	3.53	65	42%
センター	321	174	1.84	40	23%
オナーズ	16	7	2.29	3	43%
留・帰・社	12	4	3.00	4	100%
<b>計</b>	<b>1129</b>	<b>498</b>	<b>2.27</b>	<b>256</b>	<b>51%</b>

## (参考)2019年度 入試結果

	志願者	合格者	倍率	入学者	歩留率
AO	30	7	4.29	7	100%
推薦	242	200	1.21	176	88%
一般	585	104	5.63	47	45%
センター	431	133	3.24	45	34%
オナーズ	11	8	1.38	4	50%
留・帰・社	16	5	3.20	5	100%
<b>計</b>	<b>1315</b>	<b>457</b>	<b>2.88</b>	<b>284</b>	<b>62%</b>

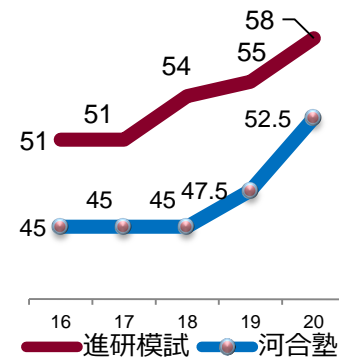
## 2019年度出願者・入学者 出身割合内訳



## 2020年度実施入試種

AO  
 推薦(指定)  
 推薦(公募)  
 一般A  
 一般B  
 センター前期  
 センター中期  
 センター後期  
 教職特待前期  
 教職特待中期  
 教職特待後期  
 オナーズA  
 オナーズB  
 オナーズC  
 留・帰・社前期  
 留・帰・社後期  
 +  
 特待生選抜試験A  
 特待生選抜試験B

## (参考)入試難易度推移



## 理想の入試と現実

### 理想：全て総合型

- 入試はマッチングだとすれば、APを理解し、DPに記された資質・能力を身につけたいと思う人が、APに合致した人材であること、DPの資質・能力を獲得したその先に、自分の未来があることをアピールし、それを大学が受け止めていく。
- 大学のDPは、自大学で獲得できる力の宣言。それ以外の力を獲得したい人は入学しないでくださいという宣言でもあります。
- 本当は、本学を希望するなら全員を入学させてあげたい。

### 現実：物理的な制約と入試＝学生確保方策

- 本学のような小規模大学でも、受験生全員と複数回の面接、丁寧なポートフォリオの読み込み、プレゼンテーション等々を実施することには困難があります。もし実施するとすれば、通年実施かギャップイヤーの導入。受験生としても万が一不合格になった場合、他の大学にチャレンジできる期間が担保されていなければいけません。
- 受験生に受けてもらいやすい（＝他とも併願しやすい）入試を実施しなければいけないという現実もあります。

#### Topic

昨年、願書提出で初めて名前を見る受験生が数名いたという驚き。  
本学では出願まで何らかのコンタクトが必ずあったのに・・・

# (学びの)高大接続は現場で始まっている

## 高大連携コラボゼミ (終了事業)

県 + 県教委の事業

高校生が大学に来て  
大学生とALを展開



高大連携コラボゼミ  
高校生と大学生によるライフデザイン学習

KYOAI GAKUEN UNIVERSITY  
<http://www.kyoai.ac.jp>

## 高崎市立高崎経済大学附属高等学校



- KYOAI Glocal Honors Program出張説明会における Gunma Innovation Award入賞学生とのビジネスプラン演習。
- SGH運営指導員派遣

## 群馬県立桐生高等学校



- 教員WGによるALガイドブック制作支援
- 生徒対象講演
- 生徒による課題研究パネル発表コメンテーター
- SSH運営指導員派遣







## 高校生の学びと評価（あるいは、入試）

入試はそもそも高校生の学びのすべてを評価しているのでしょうか？

既に「探究」を中心に高校教育改革は動いているし、高校生の学びは彼らを成長させています。彼らは、入試のために取り組んでいるのでしょうか？  
もっと純粋な学びなのではないのでしょうか？

高校生の未来は多様です。



既にカリキュラムマネジメントが動き出しており、その先に「何ができるようになったのか」という成果の可視化があります。  
高校教育の成果は高校において評価・可視化されるのではないのでしょうか。

### Topic



昨年度、本学を会場に、「高校生による探究プロジェクト報告会 in 群馬」が開催されました。

様々な高校から集まった高校生が大学生サポーターと共に自分の学びを報告し、それぞれの未来を語っていました。

主催：NPO法人 DNA (Design Net-works Association)

# チャレンジを後押しする入試にしたい

そもそも入試が、高校生の学びのすべてを評価することができないなら・・・

高校生の学びも未来も多様であるならば・・・

それぞれが頑張ったことでチャレンジできる入試にしてあげたい

例えば

一生懸命社会課題に取り組んだなら  
総合型で

高校の学習や活動にしっかり取り組んだなら  
学校推薦型で

教科の勉強を頑張ったなら  
一般や共通テストで

※どうしても、全ての入試で3要素を評価しなければいけないのでしょうか？

この観点で英語外部試験を考えると・・・

多くの大学で、外部試験結果を受験要件に用いたり、加点措置にしたことが、課題を大きくしてしまったのではないのでしょうか。

多様なチャレンジを評価したいと考えた本学は、外部試験の点数を共通テストの点数と比較するための独自の換算式を受験生に公開し、共通テストの英語試験でも外部試験でも、自分が頑張ったほう（高得点が取れた方）の点数で受験できる方式を考えました。

## 問われる大学の覚悟

- 「高大接続」において重要なのは学びの接続であり、入試はそのための一つのツール（ただし大変重要な）なのではないでしょうか。社会も「高大接続改革＝入試改革」という言説を少しだけ見直せるとよいなと思います。

そのためにも、大学は積極的に高校教育改革に参画し、これまで大学が取り組んできた教育質転換と教育質保証のノウハウを高校の探究や社会に開かれた教育課程、カリキュラムマネジメントに生かしていただきつつ、一緒に高校生を育てさせていいただくべきではないでしょうか。

- 冒頭の「共愛さんは、入学してから主体性を育ててるから、主体性は評価しなくていいですね。」という高校の先生のお話。完成された学生のみを入学させるのであれば、大学の教育改革は必要なかったのではないのでしょうか。

本当は希望する受験生全員に入学してほしい。でも「定員」があるのでできない。よって、ある一定の基準で評価させてもらって入学者を決める。入学してもらったからには責任をもってDPを達成できるように育てる。その覚悟が大学には必要だと思います。そして、全国の多くの大学がその覚悟をもって取り組んでいます。

### TOPIC

20年ほど前、未だ教育改革が進まず本学の教育力が低かったころ、数年間定員割れをした時代がありました。それでも、不合格を出させていただきました。それは、自分たちの低い教育力でも責任をもって学生を育てるためでした。教職員が万が一の時は自分たちの給与を削減する規程を作ったの覚悟でした。

### TOPIC

#### KEP(Kyoai English Program)

#### 4技能を学ぶ必修科目：

- Unified English、Spoken English、Written English等12単位の必修。
- 国際コースは総合英語等＋4単位
- 英語コースはAcademic Writing等＋22単位に加え、英語圏研修・留学必修。

#### Placement Testと少人数クラス：

- 学期毎のPlacement Testで20名以下のクラス分け。

#### 必修のSelf Study：

- 毎週1回専用の英語学習教室でe-Learningを自習。

#### One on One English：

- インターネットを使った海外講師との1対1英語学習。究極のレベル別授業。

#### 外国語センター：

- 語学学習サポートのため専任スタッフ2名が常駐。

#### English Peer Tutor：

- 英語が得意な学生による学生同士の学習支援。

#### 各種コンテスト：

- Vocabulary、Writing、Speech、Karaoke等々学生のチャレンジを喚起

## おわりに

もしできれば、少しでも、ご議論の視野に加えていただきたいこと・・・

- 本会議でご議論いただいているのは、選抜性の高い大学の入試についてのように感じられます。
  - － 選抜性が低い大学は必要ないという議論には抗いたいと思います。
  - － それぞれの大学で頑張っている学生に自信と希望を与えるのが私たち大人の役割だと思っているからです。
  - － また、大学の数（＝入試の数）でいうと地方小規模大学の方が多いです。
- 本会議でご議論いただいているのは、「大学入学共通テスト」のあり方がどうしても中心となっているように感じられますが、「検討事項（４）その他大学入試の望ましいあり方」もとても大事なことと思います。
  - － （上述の）学力の3要素をすべての入試ではかる必要性
  - － 「主体性」を評価するというセンシティブな取組
    - ✓ 上述の高校生の先生のお話とは別に、「精一杯生徒を指導し、生徒のことを思って丁寧に調査書を作るのに、それが評価されないのは残念だ。」という声も。調査書を「参考」としている大学も多いのでは。
    - ✓ 一方で、主体性というコンピテンシーを高校の先生のフィルターを通したうえで大学が評価する、あるいは本人記載資料のみで評価することは可能なのでしょうか。（生徒会長も素晴らしいし、副会長も素晴らしいフォロワーシップを発揮している・・・。探究活動に優劣が付けられる？）
    - ✓ 18歳にとって・・・
  - － 入試日程の見直し など・・・

ご清聴ありがとうございました。



# 大森 昭生 共愛学園前橋国際大学 学長(国際社会学部 教授)

1968年、宮城県仙台市生まれ。東北学院大学文学部英文学科、同大学院博士課程にて研究。1996年に学校法人共愛学園に入職、共愛学園前橋国際大学国際社会学部長、副学長等を経て、現職。

専門はアメリカ文学で特にヘミングウェイを研究。文部科学省中央教育審議会専門委員等の他、群馬県青少年健全育成審議会会長等地域における各種公的委員を多数務め、各地での講演多数。3児を育てており、二人目・三人目出産に際し育児休業を取得。群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰。全国の学長が注目する学長ランキング3位(大学ランキング2019)



## 略歴

- 1996年 共愛学園女子短期大学専任講師
- 1999年 共愛学園前橋国際大学専任講師
- 2003年 共愛学園前橋国際大学国際社会学部長・同助教授
- 2004年 埼玉大学教育学部非常勤講師(～2011年)
- 2005年 群馬県立女子大学非常勤講師(～2014年)
- 2007年 共愛学園前橋国際大学教授
- 2013年 共愛学園前橋国際大学副学長  
早稲田大学社会連携研究所招聘研究員  
高崎経済大学非常勤講師(～2015年)
- 2016年 共愛学園前橋国際大学学長
- 2019年 学校法人東北学院評議員

## 著書等

- 『群馬県男女共同参画社会作りのための副読本～未来～／～ななかま～』(共著)2002年
- 『男女共同参画時代における子育て支援者養成ガイド』(共著)2003年(日本女性学習財団)
- 『地域に愛される大学のすすめ』(インタビュー形式で参画)2011年(三省堂)
- 『アーネスト・ヘミングウェイ—21世紀から読む作家の地平』  
(共編著・編集委員長)2011年(臨川書店)
- 『ヘミングウェイ大事典』(共編著・編集委員)2012年(勉誠出版)
- 『「深い学び」につながるアクティブラーニング』(河合塾編・共著)2013年(東信堂)
- 『「大人になることのレッスン」-「親になること」と「共生」』  
(共著)2013年(上毛新聞出版部)
- 『今選ぶなら、地方小規模私立大学!～偏差値による進路選択からの脱却～』  
(共著)2018年(レゾンクリエイト)
- 『ヒッピー世代の先覚者たち：対抗文化とアメリカの伝統』(共著)2019年(小鳥遊書房)

## 公的委員等(2019年度現在)

国・その他

- 文部科学省 中央教育審議会  
教学マネジメント特別委員会専門委員  
教職課程の基準に関する検討委員会専門委員
- 文科省 私大等改革総合支援事業委員会委員
- 経団連 採用と大学教育の未来に関する産学協議会委員(地域活性化人材育成分科会)
- 私学事業団関係委員(非公表)
- 文科省住環境就職支援等留学生受け入れ環境充実事業委員(群馬大学)
- 文科省委託「海外留学の効果測定に関する調査研究」アドバイザーボード(河合塾)
- ふるさといわて創造プロジェクト  
(岩手大学COC+)外部評価委員長
- 尚絅学院大学外部評価委員
- 「ひらく日本の大学」調査アドバイザー  
(朝日新聞・河合塾)
- 日本ヘミングウェイ協会  
評議員・大会運営委員長・事務局長補佐

群馬県

- 群馬県青少年健全育成審議会会長
- 群馬県男女共同参画推進委員会会長
- ぐんま男女共同参画センターアドバイザー
- ぐんま子ども・若者未来県民会議委員
- 群馬県教育委員会高大連携協議会委員
- 群馬県立桐生高等学校SSH運営指導委員
- 群馬県立前橋高等学校SSH運営指導委員
- 群馬県立中央中等教育学校SGH運営指導委員(終了)
- 群馬経済同友会  
幹事・次世代育成委員会副委員長

市町村

- 県都まえばし地方創生本部有識者会議委員
- 前橋市社会教育委員
- 前橋市関係委員(非公表)
- アーツカウンシル前橋委員
- 前橋市アーバンデザイン策定懇談会座長
- 前橋市市街地活性化専門委員会アドバイザー
- 太田市立高校グローバル推進実行委員会副会長
- 前橋市立駒形小学校学校評議員
- 前橋市立駒形小学校PTA参与
- 前橋市立木瀬中学校PTA副会長
- 前橋まちづくり公社評議員
- 前橋市国際交流協会理事
- 前橋デザインコミッション理事